

平成29年11月16日

別府市の財政状況及び 行財政改革の取組

企画部財政課・総合政策課

1 別府市の観光予算

[平成28年度当初予算]

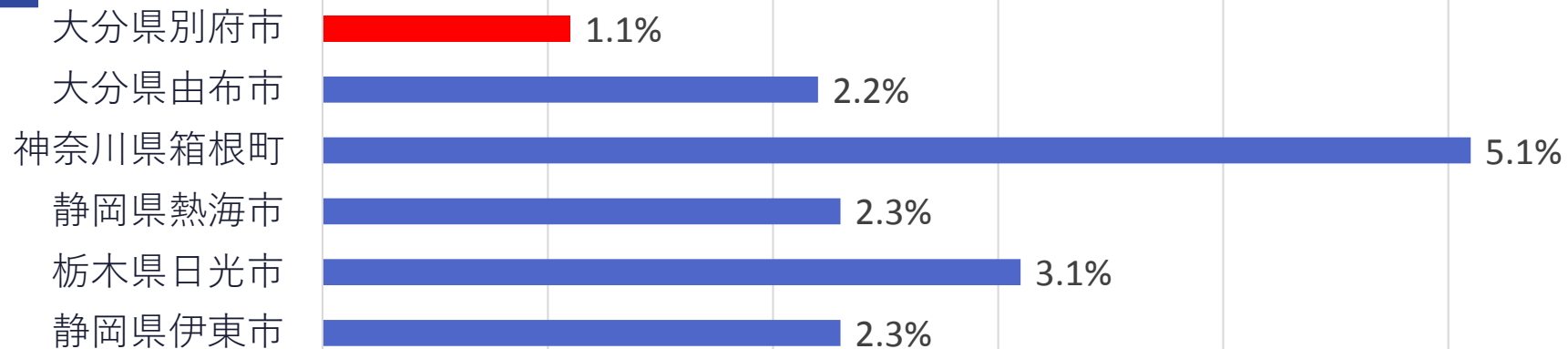
- ・別府市の観光予算は520百万円（H28）で予算全体（47,470百万円）の1.1%
- ・他の観光地と比較して、割合及び市民一人あたりの観光予算額は低い

歳出予算に占める観光予算の割合

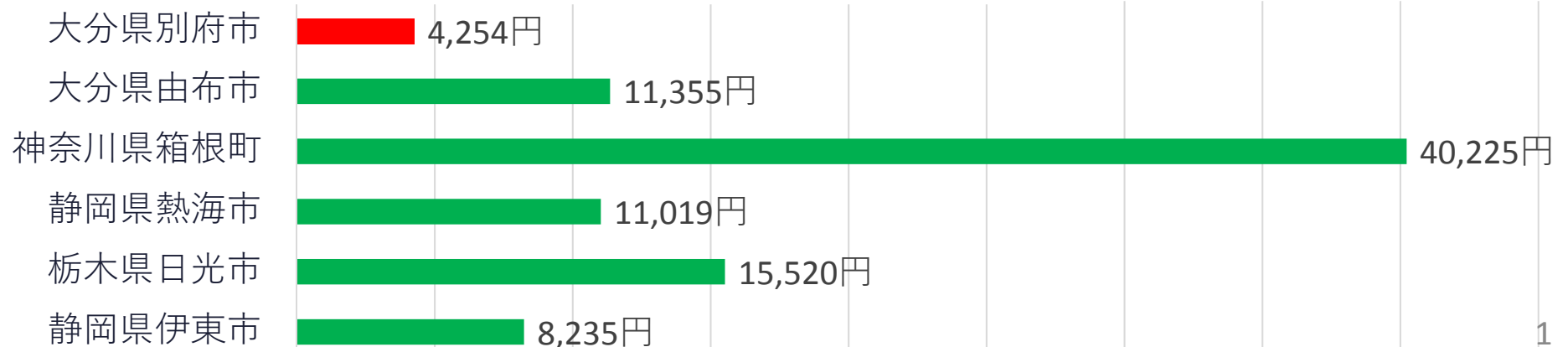
観光予算 520百万円



歳出予算に占める観光予算の割合（観光予算を歳出予算で割ったもの）



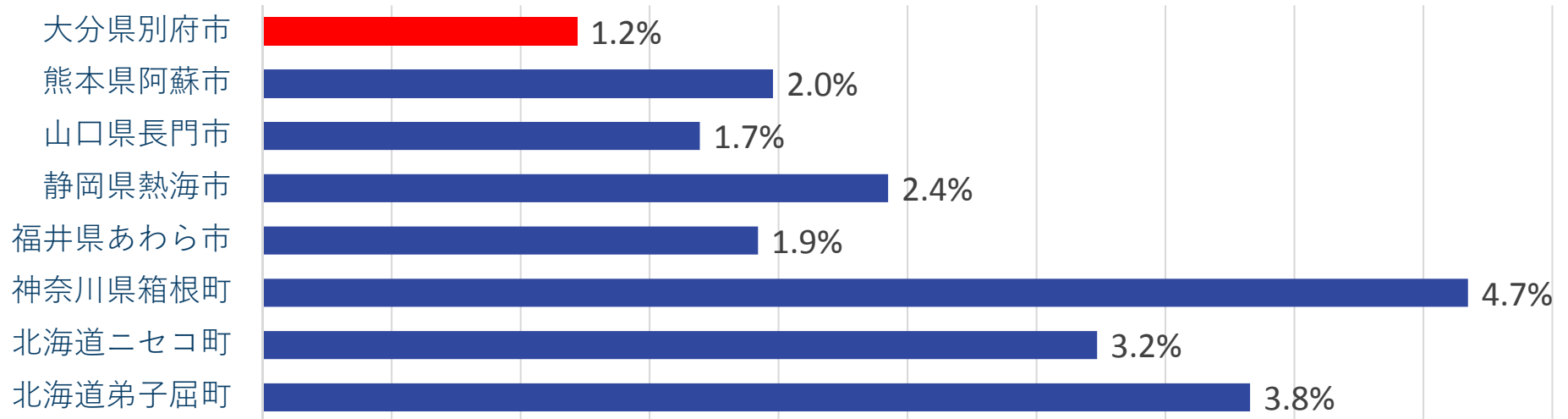
市民一人あたりの観光予算（観光予算を人口で割ったもの：円/人）



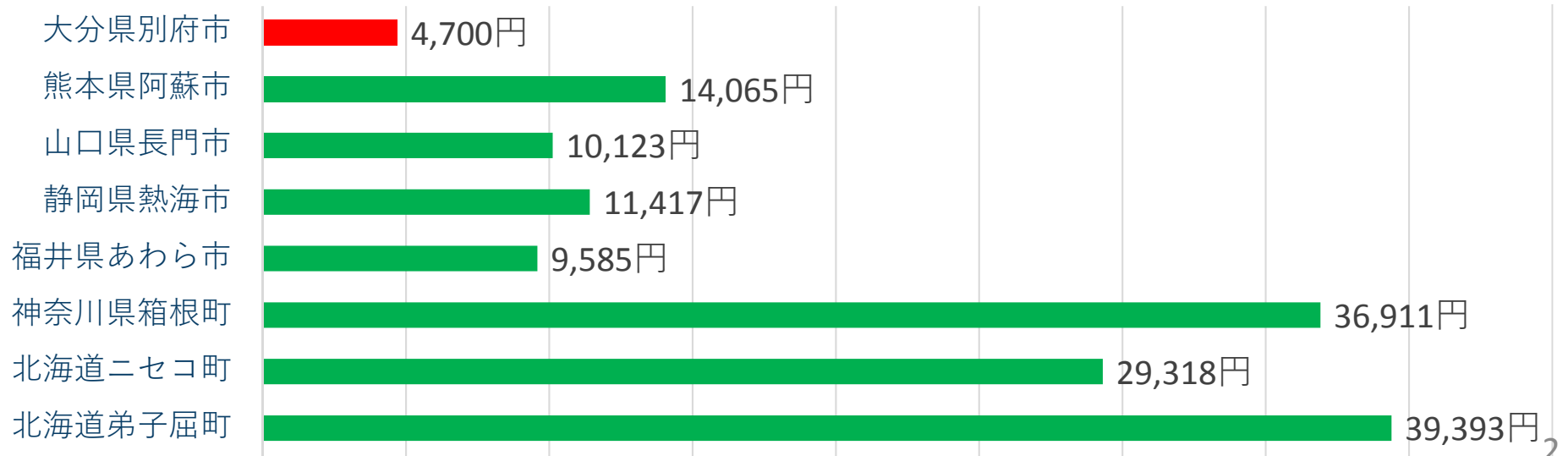
2 観光費決算の比較 (ONSENアカデミア参加団体との比較)

[平成27年度決算]

歳出決算額に占める観光費の割合 (観光費決算額を歳出決算額で割ったもの)



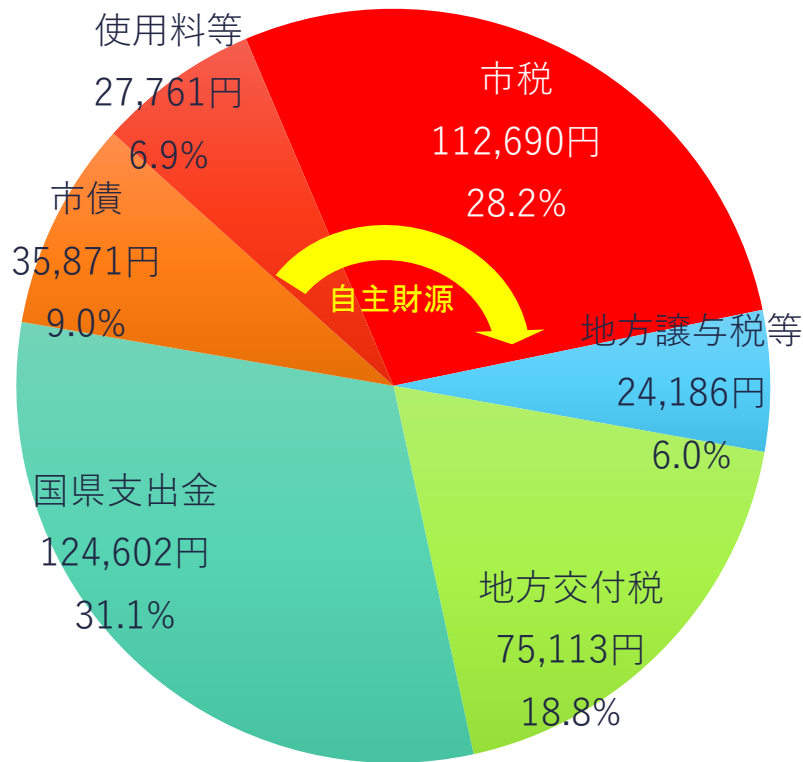
市民一人あたりの観光費決算額 (観光費決算額を人口で割ったもの：円/人)



3 歳入の特徴 市民一人あたりの収入（単位：円/人）と歳入構成

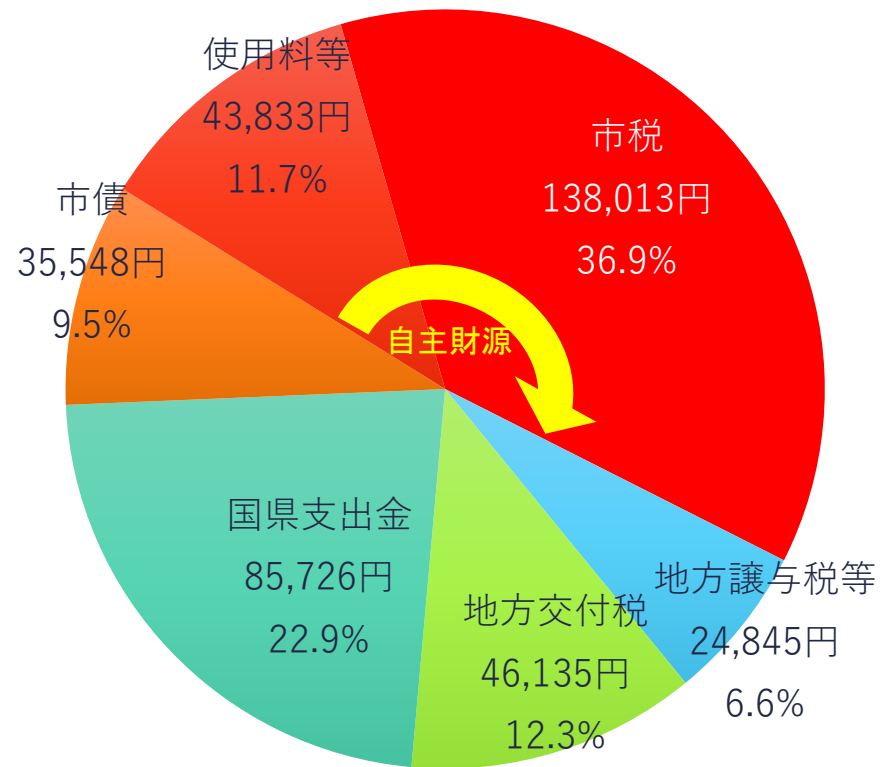
- ・歳入に占める市税の割合が3割に満たず、自主財源も35%程度である [平成27年度決算]
- ・類似団体と比較しても自主財源の比率が低く、市民一人あたり収入が少ない

別府市の歳入構成



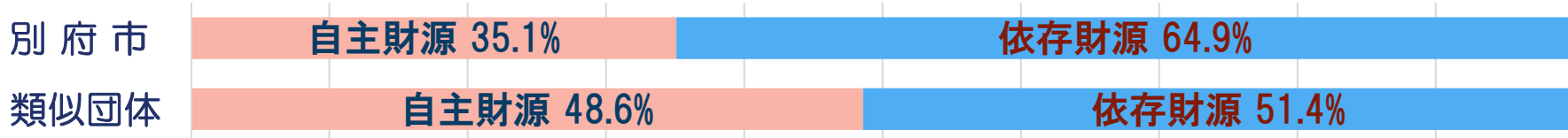
[類似団体]
人口規模と産業構造が類似した団体
別府市は人口5万人～10万人、第3次産業の割合95%以上かつ第2・3産業の計の割合が95%以上のため「Ⅲ-1」に該当

類似団体平均の歳入構成



(類似団体)
人口規模・産業構造が類似した団体

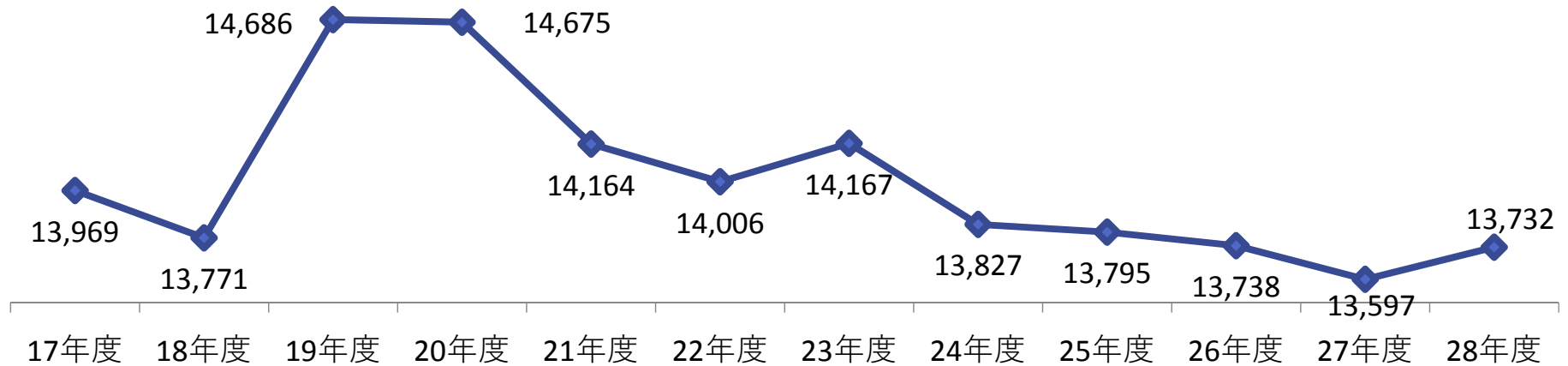
自主財源と依存財源の比率



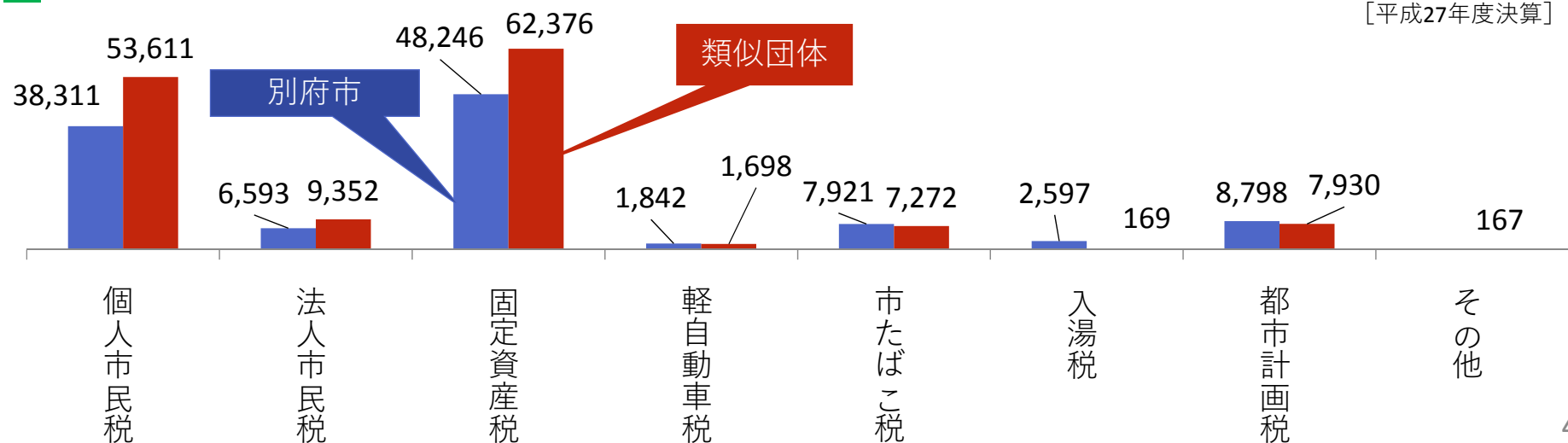
4 市税の状況

- ・ 税源移譲により平成19年に一時的に増加したが、年々減少し移譲前の水準まで低下
- ・ 類似団体より市民一人あたり収入が少なく、特に個人市民税、固定資産税が少ない。

市税決算額の推移（単位：百万円）



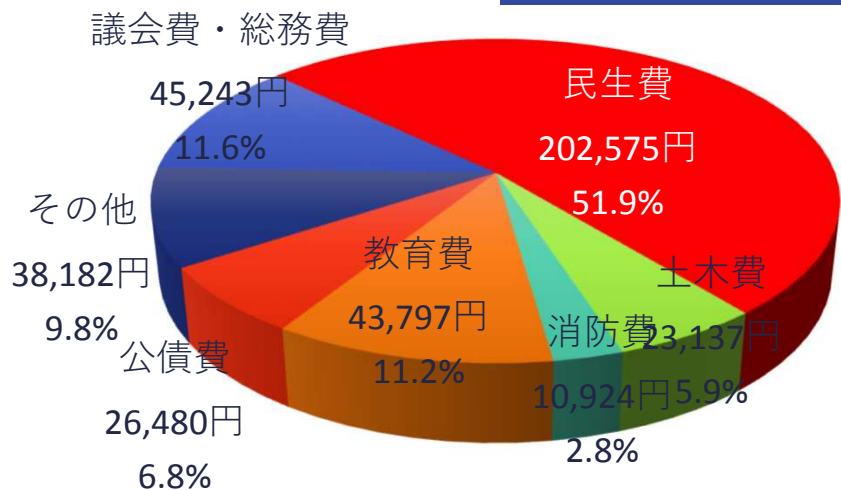
人口一人あたりの市税収入比較（単位：円/人）



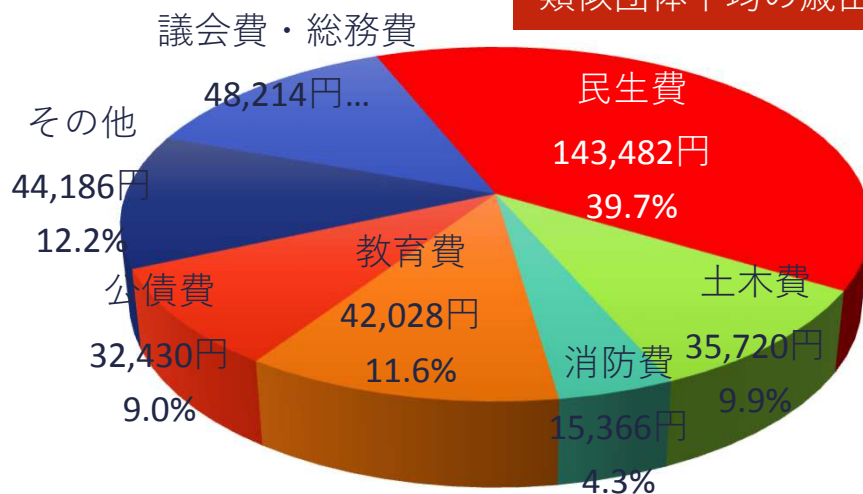
5 歳出の特徴 市民一人あたりの支出（単位：円/人）と歳出構成

- ・福祉、社会保障費などの経費である民生費の占める割合が著しく大きい [平成27年度決算]
- ・民生費の中で生活保護費が3割を占め、歳出のなかで最も大きい経費である。

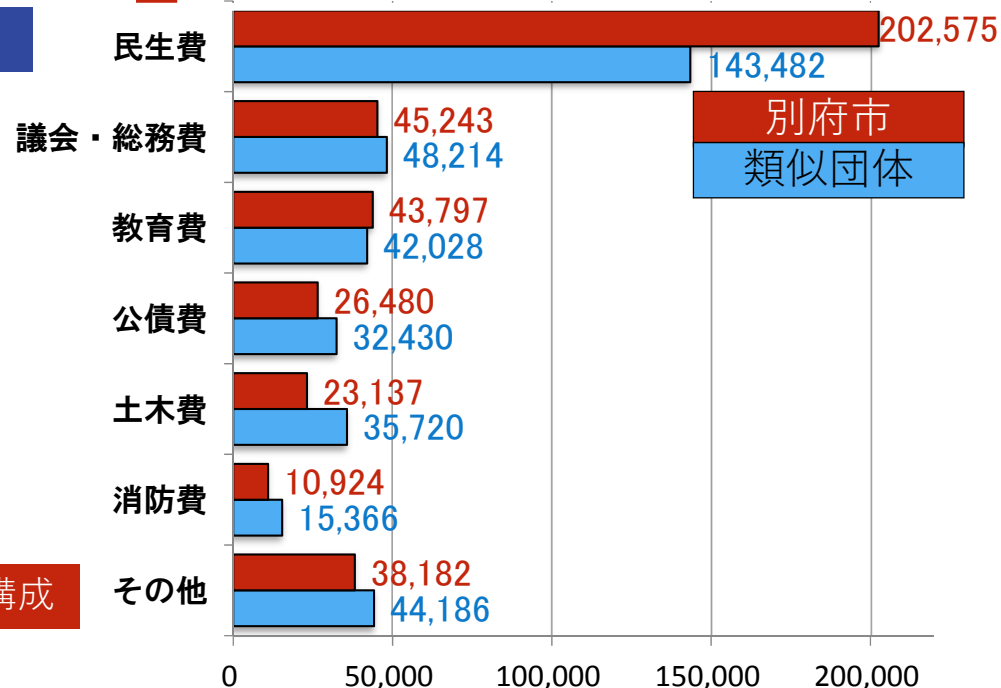
別府市の歳出構成



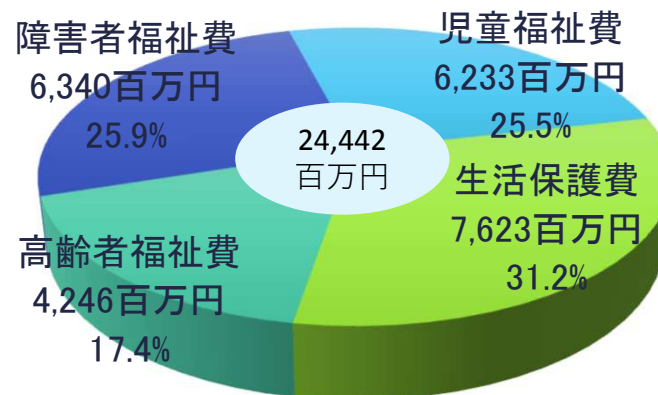
類似団体平均の歳出構成



市民一人の支出（単位：円/人）

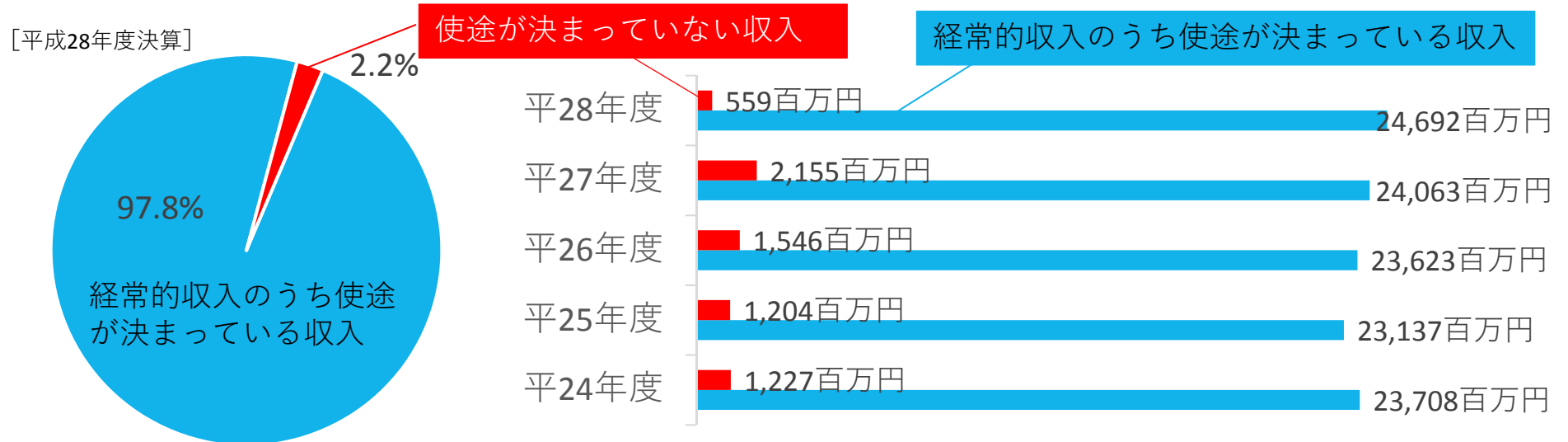


民生費の構成

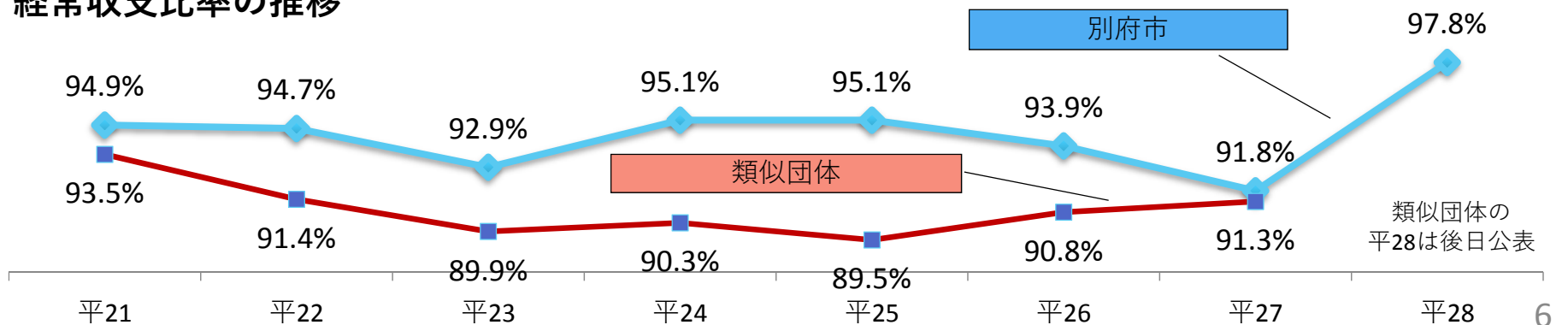


6 財政の自由度（経常収支比率）

- ・ 経常収支比率とは、毎年、入ってくる収入（経常的収入）のうち、使途が決まっている収入の割合で、割合が高いほど自由に使える収入が少なく財政運営の制約される
- ・ 別府市の直近決算（H28）の経常収支比率は97.8%であり、経常的収入約253億円のうち、使途が自由な収入は5.6億円程度（2.2%）



経常収支比率の推移



7 別府市の財政の特徴（まとめ）

歳入

- ・ 国、県の関与が少なく市の権能で収入できる自主財源の比率が低い
- ・ 主な自主財源である市民一人あたりの市税収入が少ない
- ・ 特に市税全体の約75%を占める固定資産税、個人市民税が少ない
- ・ 毎年入ってくる（経常的収入）についてはほぼ使途が決まっており、自由に使える収入（一般財源）が少ない

歳出

- ・ 生活保護費など福祉や社会保障費の支出である民生費の割合が著しく高い
- ・ 使途が自由な収入が少ない反面、民生費など固定的経費の割合が大きいため、投資的な経費である建設事業費や観光費などが少ない

【H27決算】	別府市	類似団体
市民一人あたりの市税収入	112,690円/人	138,013円/人
自主財源と依存財源の比率	35.1%：64.9%	48.6%：51.4%
歳入に占める市税の割合	28.2%	36.9%
民生費の歳出に占める割合	51.9%	39.7%
使途が決まっている経常的収入の割合（経常収支比率）	91.8%	91.3%
歳出に占める投資的経費の割合	40,055円/人	44,744円/人
市民一人あたりの借金（地方債残高）	283,905円/人	322,062円/人

8 行政改革の取組

～これまでの取組～

行財政 健全化	昭和61年	別府市行財政健全化計画策定
	昭和63年	別府市行財政健全化実施計画（昭和61年度～67年度）策定
第1次 行 革	平成 8年	別府市行政改革大綱策定
	平成10年	別府市行政改革推進計画（平成9年度～12年度）策定
第2次 行 革	平成16年	第2次別府市行政改革大綱策定
	平成16年	第2次別府市行政改革推進計画（平成16年度～20年度）策定
	平成16年	別府市緊急財政再生プラン（平成16年度～20年度）策定
	平成18年	別府市定員適正化計画（平成17年度～21年度）策定
	平成18年	別府市集中改革プラン（平成17年度～21年度）策定
第3次 行 革	平成22年	第3次別府市行政改革推進計画（平成22年度～26年度）策定
	平成24年	第2次別府市定員適正化計画（平成24年度～33年度）策定

9 行政改革の効果額

第2次行政改革推進計画（平16～20） 実績額7,840百万円

[主な取組]

給与制度・退職金制度の見直し、ごみ収集業務の一部民間委託（1次、2次）、補助金の見直し（一律カット）養護老人ホーム扇山の民間移管、市立保育所等の民間移管・再編、前納報奨金・納税組合奨励金の廃止、敬老祝金制度の見直し、使用料の見直し、未利用財産の有効活用など

改革項目	効果額
市民ニーズに対応する行政サービスの推進	7百万円
事務事業の整理・効率化の推進	2,730百万円
地方分権に対応した組織・機構の見直し	253百万円
定員管理及び給与の適正化	2,083百万円
健全な財政運営の確立	2,767百万円
合 計	7,840百万円

第3次行政改革推進計画（平22～26） 実績額3,356百万円

[主な取組]

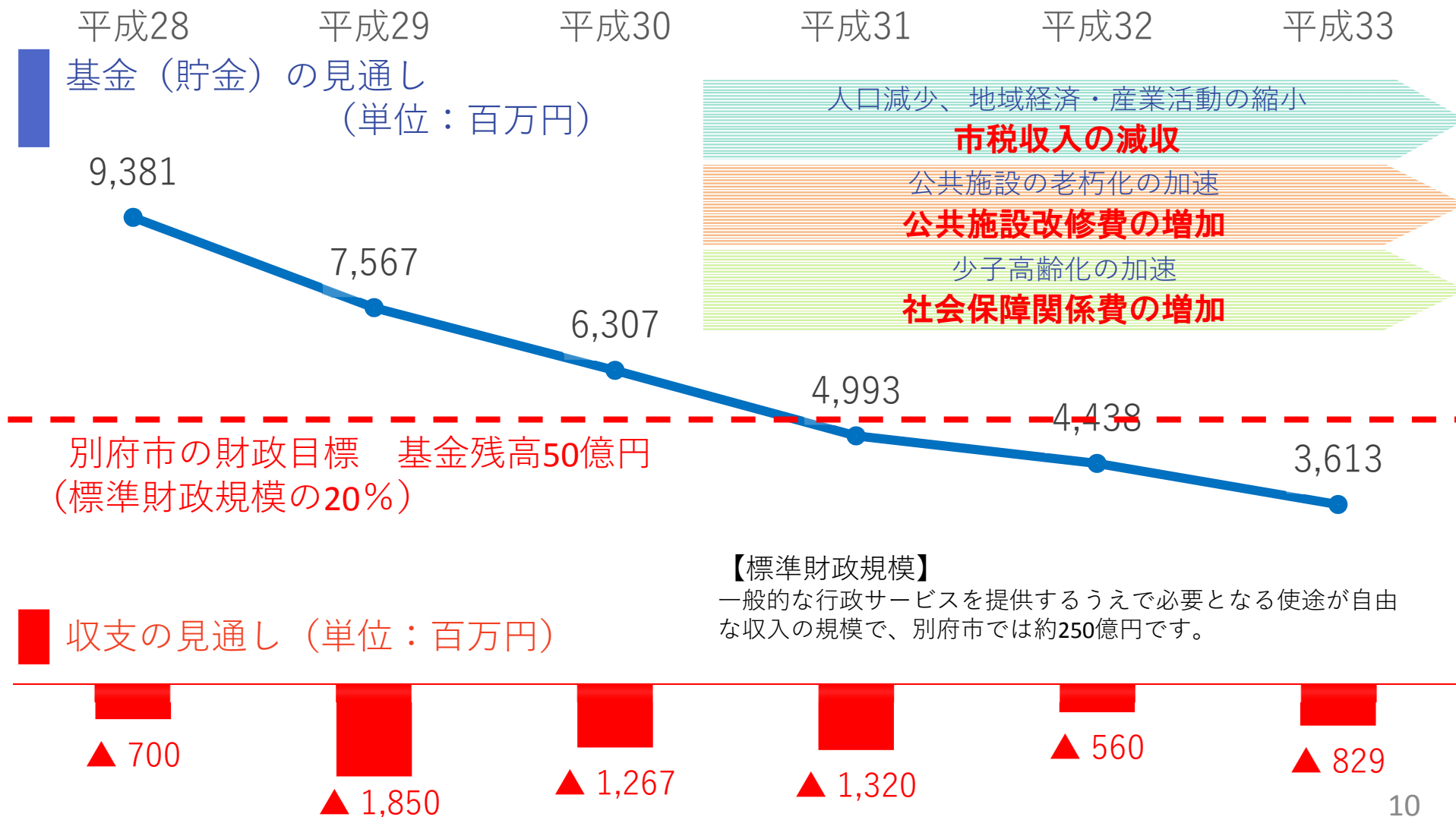
ごみ収集業務の一部民間委託（3次H25）、職員定員適正化の推進、給与制度の見直し、福利厚生事業の見直し、未利用財産の有効活用、前納報奨金、納税組合奨励金の廃止

改革項目	効果額
事務事業の整理・効率化の推進	195百万円
定員管理及び給与の適正化	1,861百万円
健全な財政運営の確立	1,300百万円
合 計	3,356百万円

10 今後の財政運営の見通し

[平成28年11月公表分]

- ・ 市税収入の減収、公共施設改修費や社会保障関係費の財政需要の増加
- ・ 今後の財政運営においては、財政収支の赤字により、基金（貯金）減少の見込
- ・ 別府市の財政目標である基金残高50億円割れが懸念される



11 今後の財政運営

■財政健全化に向けての取組

第2次別府市定員適正化計画（平成24年度～33年度）

⇒職員数を129人削減（13%）

第3次別府市行政改革大綱

⇒平成29年度策定予定

第4次別府市行政改革推進計画（平成30年～34年度）

⇒平成29年度策定予定

別府市公共施設再編計画（平成29年3月策定）

⇒公共施設の総コストを30%以上圧縮

■新しいまちづくり

別府市後期基本計画

（平成28年度～32年度）

- ①豊かな自然環境を大切にして、自然とふれあいながら暮らしている
- ②地域で支えあい、誰もが健康で安心して暮らしている
- ③日常生活が便利で、誰もが快適に暮らしている
- ④地域に愛着と誇りを持ち、個性を大切にする心豊かな人材が育っている
- ⑤観光資源を活かした多様な交流と産業が育ち、まちに活気がある
- ⑥市民全体の活動が活発で、市民と行政の協働のまちづくりが行われている
- ⑦市民に信頼される市政運営が行われている

別府市総合戦略

「べっぷ未来共創戦略」（平成27年度～31年度）

- [しごとの創生] 資源（ひと・温泉）をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。
- [しごとの創生] 多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。
- [ひとの創生] ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。
- [まちの創生] ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。